

検体検査用放射性同位元素備付届

令和 年 月 日

尼崎市保健所長 様

開設者又は管理者名 _____

臨床検査技師等に関する法律第20条の4第4項の規定により備えようとする検体検査用放射性同位元素について、次のとおり届け出ます。

衛生検査所の名称	
衛生検査所の所在地	TEL () FAX ()
予定使用開始年月日	令和 年 月 日

検査従事者の被ばく測定器の名称	有	ガラスバッチ（胸腹部用、頭部頸部用）ガラスリング・ポケット線量計 TLD その他（ ）	無
放射線測定器又は用具 (放射線障害が発生するおそれのある場所の測定)	有	種類・名称	無
放射性同位元素の入手、使用、廃棄にかかるベクレル単位での放射能測定器	有	種類・名称	無

【添付書類】 添付されている書類について、□をチェックすること。

- 1. 衛生検査所の全体図面
- 2. 管理区域隣接部の平面図(上下階を含む)
※管理区域及び標識の位置を明示すること。
- 3. 検体検査用放射性同位元素使用室、貯蔵施設、廃棄施設の詳細図(平面図、立面図)
※使用室、貯蔵室等各室の標識、管理区域の標識、注意事項の掲示する位置を明示すること。
- 3. 給水、吸気及び排気、排水の経路図面
- 4. 遮蔽計算書
※管理区域、敷地の境界、使用室等
- 5. 放射線障害の防止に関する衛生検査所内機構（責任者氏名を含む）及び放射線障害防止の内規
- 6. 事故発生時の関係機関への通報基準及び連絡網
- 7. R I の入手、使用、廃棄に係る帳簿の様式
- 8. 各放射線測定器の動作特性等の判明する書類

検体検査用放射性同位元素に関する事項								
項 目								
放射 性 同 位 元 素 の 種 類								
放 射 性 同 位 元 素 の 形 状								
本 年 使 用 予 定 数 量 (B q)								
1 日 最 大 使 用 予 定 数 量 (B q)								
3 月 間 最 大 使 用 予 定 数 量 (B q)								
1 年 最 大 使 用 予 定 数 量 (B q)								
最 大 貯 蔵 予 定 数 量 (B q)								

(注) 使用予定核種の種類が多いときは、同様式で別紙を作成すること。

検査に従事する者の氏名及び経歴		
氏 名	生年月日	経 歴

注) 経歴の欄は免許の種類(第1種放射線取扱主任者、薬剤師等)、取得年月日、免許番号等を記入する。

検体検査用放射性同位元素を使用するための施設に関する事項		
使用室	作 業 室 (計 測 、 測 定 室)	有 (部 屋 数) ・ 無
	準 備 室	有 (部 屋 数) ・ 無
	汚 染 検 査 室 (場 所)	有 (部 屋 数) ・ 無
	汚 染 除 去 室 (場 所)	有 (部 屋 数) ・ 無
	更 衣 設 備	有 (部 屋 数) ・ 無
	専 用 便 所	有 (部 屋 数) ・ 無
	洗 浄 設 備	有 (部 屋 数) ・ 無
		有 ・ 無
貯蔵施設	貯 蔵 室	有 (部 屋 数) ・ 無
	貯 蔵 箱	有 (箱 数) ・ 無
廃棄施設	排 水 設 備	有 ・ 無
	排 気 設 備	有 ・ 無
	保 管 廃 棄 設 備	有 ・ 無
運 搬 容 器	有 (数) ・ 無	

注) 管理区域の部屋等の全てを記載すること。

検体検査用放射性同位元素使用室の放射線障害防止に関する事項				
主要構造部等は耐火構造又は不燃材料		耐火構造 ・ 不燃材料		
画壁外側の実効線量が1mSv/週以下となる措置		有 ・ 無		
作業室（計測、測定室）と準備室の区画		有 ・ 無		
使用室から外部への出入り口		箇所		
用途		準備室		作業室
事項		室名	(1)	(2)
内装材及び平滑の有無	壁内装材 (平滑の有無)		(有 ・ 無)	(有 ・ 無)
	床内装材 (平滑の有無)		(有 ・ 無)	(有 ・ 無)
	天井			
	扉			
突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの状況		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
耐腐食性、耐浸透性		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
排気設備への連結		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
洗浄設備		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
洗浄設備の排水設備への連結		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
フード・グローブボックス等の設備		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
上記装置の排気設備への連結		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
使用室等の標識		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

注) 作業室、準備室が多数ある場合は、この様式で別紙を作成すること。

検体検査用放射性同位元素使用室（付属室）の放射線障害防止に関する事項				
画壁外側の実効線量が 1mSv/週以下となる措置		有 ・ 無		
用 途		汚染検査	汚染除去	専用便所
事項	室名			
内装材及び平滑の有無	壁 内 装 材 (平滑の有無)	(有 ・ 無)	(有 ・ 無)	(有 ・ 無)
	床 内 装 材 (平滑の有無)	(有 ・ 無)	(有 ・ 無)	(有 ・ 無)
	天 井			
	扉			
突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの状況		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
耐 腐 食 性 、 耐 浸 透 性		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
洗 浄 設 備		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
洗浄設備の排水設備への連結		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
汚 染 除 去 用 機 材			有 ・ 無	
更 衣 設 備 （ 室 ）		有 ・ 無		
汚 染 検 査 用 放 射 線 測 定 器		有 ・ 無 (種類・名称)		
汚 染 除 去 用 器 具 類		名称・数		
個人被ばく線量で不均等被ばくの可能性		有 ・ 無		

注) その他使用施設内で従事者等が立ち入る部屋等があれば同様式で別紙を作成する。

貯蔵施設の放射線障害防止に関する事項			
貯蔵の方法		貯蔵室 ・ 貯蔵箱 注) 貯蔵箱のみにより貯蔵する場合は、当該箱を設置する部屋を貯蔵室とおきかえて記入すること	
貯蔵施設の外側における実効線量が1 m S v / 週以下となる措置		有 ・ 無	
貯蔵室の主要構造部の耐火性		有 ・ 無	
人が常時出入りする出入口の数		箇所	
室の開口部の防火戸		有 ・ 無	
貯蔵箱の耐火性		有 ・ 無	
扉、ふた等外部に通じる部分の閉鎖設備		有 (かぎ、その他) ・ 無	
貯蔵施設の標識		有 ・ 無	
貯蔵容器、運搬容器の有無		貯蔵容器	運搬容器
		有 ・ 無	有 ・ 無
貯蔵時に貯蔵容器から1 mにおける実効線量率が100 μ S v 毎時以下となるような措置		有 ・ 無	有 ・ 無
気密性		有 ・ 無	有 ・ 無
液体のこぼれにくい構造		有 ・ 無	有 ・ 無
耐浸透性		有 ・ 無	有 ・ 無
貯蔵容器の標識		有 ・ 無	有 ・ 無
貯蔵物の表示	種類	有 ・ 無	有 ・ 無
	数量	有 ・ 無	有 ・ 無
受け皿、吸水材その他汚染のひろがり防止の設備器具類		有 ・ 無 (名称・数等)	
放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		有 ・ 無	

廃棄施設の放射線障害防止に関する事項				
排水設備				
施設の外側における実効線量が 1mSv/週以下となるような措置				
容量及び基数		貯留槽		希釈槽
		m ³ ×基数	m ³ ×基数	m ³ ×基数
排水口において濃度限度 以下とする能力		有		無
排水監視設備		有 (種類・名称)		無
敷地の境界における濃度限度		こえる・こえない		
耐漏水性		有		無
耐浸透性		有		無
耐腐食性		有		無
排液採取設備		有		無
排液濃度測定構造		有		無
排液流出調節設備		有		無
排液処理槽の上部の開口部における ふた又は周囲の立ち入り制限措置		有		無
排水設備の標識	排水管	有		無
	排液処理槽	有		無
放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		有		無
排気設備				
排気設備の有無		有・無(無い場合は理由書を添付)		
施設の外側における実効線量が 1mSv/週以下となるような措置		有		無
排風機の能力及び基数		m ³ /時間×基数		
フィルター	種類	HEPAフィルター	チャコールフィルター	
	性能	%	%	%
排気口において濃度限度 以下とする能力		有		無
排気監視設備		有 (種類・名称)		無
境界における濃度限度		こえる・こえない		
人が常時立ち入る場所における濃度限度 以下とする能力		有		無
気密性		有		無
耐腐食性		有		無
空気のひろがり防止する措置		有(ダンパー・その他)		無
排気設備の標識	排気浄化装置	有		無
	排気管	有		無
	排気口	有		無
放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		有		無

保管廃棄設備	
室名	
施設の外側における実効線量が 1mSv/週以下となるような措置	有 ・ 無
閉鎖設備	有 ・ 無 (扉・かぎ・その他)
保管廃棄容器	有 ・ 無
耐火性	有 ・ 無
気密性	有 ・ 無
耐浸透性	有 ・ 無
液体のこぼれにくい措置	有 ・ 無
保管廃棄容器の標識	有 ・ 無
保管廃棄設備の標識	有 ・ 無
放射線障害防止に必要な注意事項の掲示	有 ・ 無